

IT活用の経営術 (第9回)

ITがなかったら、あなたのビジネスはどうなりますか？

(有) アドラック 代表取締役 OCPビジネスプロデューサー **宇佐美康司**

ITがなかったら、あなたのビジネスはどうなっているでしょうか？

そもそもITってなんでしょか？ ITとはInformation Technologyの略で、パソコンを代表とする情報機器や、インターネット、通信インフラなどを組み合わせて活用していくための技術の総称です。インターネット・テクノロジーの略ではないのですが、インターネットの発展に伴ってIT革命といわれる急激な社会構造の変化が起こりましたので、IT=インターネットと思われている方も多いです。

あなたはITなしで仕事するなんて想像も出来ないですか？ それとも、ITなんてなかった時代のほうが上手くいっていたとお考えでしょうか？

「ITなしの生活など考えられない。」と思われた方が多いのではないのでしょうか？ 皆さんが商品を購入するとき、他社商品との比較、すでに購入された方の評価、一番安く買う方法等々、まずはインターネットで検索するという購買行動になっているはず。

また店舗の商品はPOSデータで管理され、販売仕入の管理、会計処理などの財務経理はITのもっとも得意とする分野です。

パソコンは苦手という人も、携帯電話というIT機器は重宝しているのではないですか？

「IT社会になって商売が上手くいかなかった。」「IT時代では得していない。」という人もいます。

インターネットで商品が買えるようになって客が地元で買わなくなった、とか他店と価格比較されて利益幅が少なくなった、という部分に目が行くと思うのですが、実際には、仕入や顧客として自分もその恩恵を受けていて、損得計算すると実は得している人も多いです。

実際、大多数の人にとってIT社会になってビジネスチャンスは広がっています。それではチャンスを生かせる人と生かせない人はどこが違うのでしょうか？

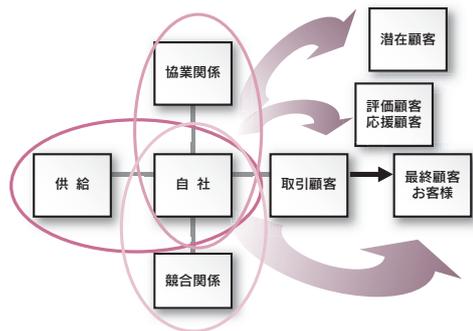
ITを生かせない人は、ITはツール(道具)だと思っています。ITを道具として利用できる企業が成功すると思っているのです。成功する人はIT経営をしています。IT経営とはIT革命といわれる社会環境の変化に対応して情報を最大限利用する経営スタイルなのです。

以前は情報をたくさん持っている人、最新情報を手に入れられる立場の人が有利な社会でした。ところがIT社会になって情報は誰でも簡単に入手できるようになりました。わからないこと、知らないことは全てインターネット検索で調べられます。ネットで質問すれば誰かが懇切丁寧に答えてくれます。結果として、情報格差によるビジネスの優位性がなくなりました。IT社会は実は情報の価値が薄れた社会なのです。

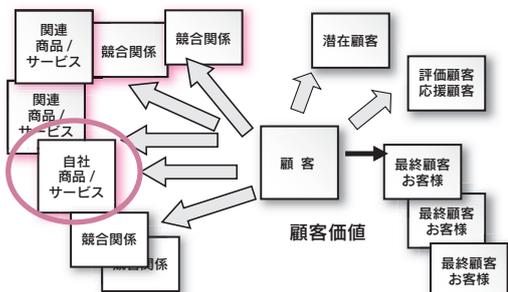
情報を持っている価値が低くなった社会で貴重なものは何でしょうか？ 何でも簡単に手に入る社会で、手に入れることが難しいものは何でしょうか？

この答えがIT社会でのあなたのビジネスチャンスとなるのです。

自店からビジネスモデルを考える



顧客視点でビジネスモデルを考える



最後に少しだけ考えるヒントを……

時代は振り子のように動いています。葉書や手紙から電話、FAXそしてメールへと手軽さや便利さを追求した結果、今手書きの手紙が喜ばれる時代となり、きれいな字が書ける人が貴重な人材となっています。

現地に行かなければ買えない希少価値で人気となった生キャラメルで成功したかに見えた会社が、インターネット販売や東京大阪に進出して、いつでも誰でも買えるようにした結果、失速してしまいました。これからは、いつでも、どこでも、誰にでも、24時間365日オープン、といった今までのIT社会のキーワードから逆の方向に向かいそうな気がします。大事なのは、自分を中心にするのではなく顧客を中心としてビジネスを考えることです。

人それぞれ答えは違います。正解探しをするのではなく、ぜひ自分なりの正解を導きだして、IT社会に対応したビジネスへと変化させていただきたいと思っています。

みなさまの成功をお祈りしています。